

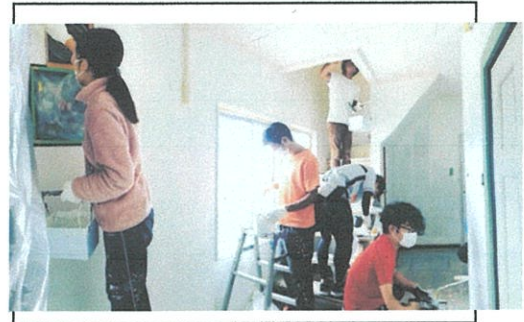
平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	志賀高原 第1回 星のリノベーション
事業主体 (連絡先)	合同会社 MOUNTAIN DISCOVERY (井戸聞多 ido.monta@gmail.com)
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	3,116,557円 (うち支援金: 1,573,000円)

事業内容

山ノ内町湯田中地区で働く人のシェアハウスを作るため空き家リノベーションコンペと施工を、首都圏学生が中心となって実施した。湯田中地区の調査と合宿場所を志賀高原とすることで広く山ノ内町を知る機会を提供し、施工に至る事業活動を通じて山ノ内町への関わりを生むことで、学生へは貴重な実施体験の教育機会を提供し、本事業以降の山ノ内町への観光、関係人口としての関わりを生んでいく狙いとなっている。

- ・9/11～14: 合宿、調査&コンペ製作
- ・9/15: コンペ実施
- ・9/22～10/14: 施工期間
- ・10/28: オープニングセレモニー、稼働開始



【施工風景】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 学生参加者は首都圏の2大学より合宿コンペ:26名、施工:述べ48名×日が参加しプロの大工による支援を受け合宿参加者は大学では得られない施工経験を得ることが出来た。
- ② 合宿参加者26名のうち24名が山ノ内町の初来訪となり施工を経て次回イベントへの参加意欲80%以上。観光による来訪意欲90%以上。
- ③ 本事業は湯田中地区で働く人達の住居(シェアハウス)として施工され、施工期間1ヶ月で完成しオープニングセレモニーの10/28時点で住人が居住を開始した。

【目標・ねらい】

- ① 学生への教育機会の提供
- ② 地域の魅力を首都圏学生に発信し以降の観光、関係人口増加へつなげる
- ③ 地域課題解決への人手不足の解消

※自己評価 【A】

【理由】

- ・施工参加者が予定の2.4倍となり山ノ内町への再訪意欲を作った。
- ・予定より短期間での稼働開始

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

本事業では「空き家リノベーションによるシェアハウス」がテーマとなったが、地域が持つ課題、テーマに学生の専門性を選択し、柔軟な開催が可能となる。事業を重ねるに連れてノウハウが蓄積されていき、首都圏大学生は代替わりすることによって継続的な参加が見込める。今後は首都圏社会人、地元住民の巻き込みを視野に入れて継続的に活動をしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある